

■情報提供及び意見収集手法一覧

情報伝達	主な対象者	情報提供及び意見収集手法	意見表明のハードル	関心の低い市民意見の聴取	メリット	デメリット	他空港での事例	詳細説明
一方向	全市民	広報資料(ニュースレター、チラシ、パンフレット等)の配布・据え置き	—	—	・文書を配布することで正確な情報を提供することができる。 ・提供範囲を絞ることで、費用を安くすることができる。 ・持ち帰りが可能で、好きなときに確認可能。	・提供範囲を広くすることで費用が高額となる。 ・準備と配布に時間や費用がかかる。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施(参考資料1,2参照)	—
一方向	全市民	紙媒体(新聞・雑誌等)	—	—	・広範囲に正確な情報提供を行うことができる。 ・持ち帰りが可能で、好きなときに確認可能。	・一過性であるためイメージが優先される。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施(参考資料1,2参照)	—
一方向	全市民	マス・メディア(テレビ、ラジオ等)	—	—	・広範囲に情報伝達を行うことができる。	・一過性であるためイメージが優先される。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施(参考資料1,2参照)	—
一方向	全市民	ホームページ	—	—	・広範囲に、迅速かつ安価に多くの情報伝達可能。	・興味の高い人へしか情報が伝わらない。インターネットを活用できる人にしか情報が伝わらない。高齢者へ伝わらない可能性が高い。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施(参考資料1,2参照)	—
一方向	全市民	インターネット(SNS・WEB記事)	—	—	・広範囲に、迅速かつ安価に多くの情報伝達可能。 ・関心の低い人(特に若年層)にも発信可能。	・効果が使用する媒体の数及び発信回数に起因する。 ・定期的な更新、発信が必要。高齢者へ伝わらない。	・羽田空港(オープンハウス実施時に活用)	—
一方向	全市民	ポスター(電車の車内広告・電光掲示板等)	—	—	・広範囲に情報伝達を行うことができる。	・イベントの広報等にしか向かない。詳細情報の提供は難しい。 ・配置場所、配布方法、視覚的効果の工夫などを行わなければ、必要な市民に必要な情報が届かない。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施(参考資料1,2参照)	—
一方向	関心のある市民	メーリングリスト	—	—	・広範囲に、迅速かつ安価に情報伝達可能。	・興味の高い人へしか情報が伝わらない。 ・アドレス等を登録した市民にしか発信できない。	・福岡空港のPIの各段階で実施(参考資料1参照)	—
意見収集	関心のある市民	アンケート(ハガキ、HP等)	低い	○	・広域、大量の対象者から一定条件で意見把握が可能。	・回答率を上げるための広報、工夫が必要。 ・設問検討に労力が必要。質問の作り方で結果が左右される。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施	—
意見収集	関心のある市民	FAX、フリーダイヤル、Eメール	低い	△	・広域、大量の対象者から一定条件で意見把握が可能。	・関心の低い人への発信が難しい。 ・名簿やリストが必要。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施	—
意見収集	関心のある市民	パブリックコメント	高い	△	・多様な意見把握が可能。	・回答率を上げるための広報、工夫が必要。 ・市民同士の対話の場ではないため合意形成は難しい。	・福岡空港、那覇空港のPIの各段階で実施	—
双方向	全市民	インフォメーションコーナー	低い	○	・写真、模型等を文書と組み合わせることで解りやすい情報伝達が可能。 ・設置場所を工夫すれば、関心の低い方へも情報発信が可能。	・訪問した人にしか情報提供できない。	・福岡空港のPIの各段階で実施(参考資料1,3参照)	参考資料3(P1)
双方向	全市民	オープンハウス	低い	○	・正確な情報を直接的に伝達し、意見収集も可能。関心の薄かった住民等との意見交換を図ることができる。 ・1対1で会話が可能なため、発言意思の低い市民の意見を抽出可能。	・訪問した人にしか情報提供できない。 ・立ち寄ってもらうためのビジュアル的な工夫、広報が必要。	・福岡空港のPIの各段階で実施(参考資料1,3参照) ・那覇空港のPIの各段階で実施(参考資料2参照) ・羽田空港にて現在実施中(参考資料3参照)	参考資料3(P2)
双方向	全市民	空港見学会	低い	○	・関心の薄かった方とも直接的な意見交換を行うことができる。 ・楽しみながら参加してもらうことにより、関心の醸成を図りやすい。	・参加者が限られるとともに、参加者にしか情報提供できない。	那覇空港	—
双方向	関心のある市民	グループヒアリング	低い	△	・市民等の中から少グループを選出し、実施する。 ・少人数で行うので、市民等のニーズ、期待、関心等に関して、密度の濃い意見把握が可能。	・ヒアリング対象者の選定を誤ると、意見の見落としを招くことがある。 ・対象者を選定する必要がある。	・福岡空港(参考資料2,3参照)	参考資料3(P3)
双方向	関心のある市民	座談会・懇談会	低い	△	・直接的な意見交換が可能。	・参加者にしか情報が伝わらない。	・福岡空港(参考資料1,3参照) ・那覇空港(参考資料2参照) ・札幌市(参考資料3参照)	参考資料3(P4)
双方向	関心のある市民	教室型の意見交換会・説明会・公聴会	高い	△	・直接的な意見交換が可能。	・任意参加なので関心の薄い人の参加は見込めない。 ・主張の強い人に全体の意見が左右される。	・福岡空港(参考資料1,3参照) ・那覇空港(参考資料2,3参照)	参考資料3(P5,6)
双方向	関心のある市民	ワークショップ	低い	△	・多様な意見交換が可能。 ・一定のルールを設定することで冷静な議論が可能となる。	・参加者にしか情報が伝わらない。 ・議論のテーマを適切に設定する必要有り。 ・準備に労力が必要。	・札幌市市民文化局(参考資料3参照)	参考資料3(P7)
双方向	関心のある市民	フォーラム、シンポジウム	高い	△	・意見交換の場を公開することで、様々な立場の意見を一般市民に公開することができる。 ・マスコミに取り上げられやすい。	・参加者(主に関係者)にしか情報が伝わらない。	・HOKKAIDO空港運営戦略フォーラム(参考資料3参照) ・福岡空港(参考資料1,3参照) ・那覇空港(参考資料2参照) ・北九州空港、中部国際空港etc	参考資料3(P8)
双方向	関係者	協議会・委員会・運営会議	高い	△	・対象者を絞った継続的かつ密度の濃い意見交換、検討、意思決定が可能。	・関係者、学識者に限られる。	・利用促進協議会、活用協議会、振興協議会、検討委員会等の名称で各空港に存在する。	—

※「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン 平成21年3月国土交通省」を元に作成

(参考1)他空港での情報提供及び意見収集手法とその結果

事例として、「福岡空港」での各パブリックインボルブメント実施時期における、情報提供及び意見収集手法(回数・実施内容等)と、その結果(参加者数等)を示す。

実施した情報提供及び意見収集手法

Step	手法	回数・箇所・期間等	実施内容
1 (H17~)	新聞広告	6回	PI活動に関する新聞広告を実施した。
	ラジオ放送	78本(20秒広告) 7月20日~8月23日	PI活動に関するラジオ広告を実施した。 オープンハウス会場からのラジオ中継 計3回
	チラシ配布	H17年6月~H17年7月	街頭および県内市町村、中学校、高等学校、大学等にチラシを配布した。
	ポスター配布	不明	県内市町村、中学校、高等学校、大学等にポスターを配布した。
	行政だより配布	270万部	福岡県及び福岡市の行政便りにPI活動に関する告知を掲載、配布した。
	ニューズレター配布	不明	福岡空港調査連絡調整会議ニュースにPI活動に関する告知を掲載、配布した。
	ホームページ	H17年6月24日~	H17年6月24日より福岡空港調査連絡調整会議のホームページを開設した。 関連資料等を集約し、掲載すると共に、PI(ステップ1)の活動等に関する開催日や開催場所等の周知を実施した。
2 (H18~)	新聞広告	5回	PI活動に関する新聞広告を実施した。
	雑誌広告	2誌・2回 計19.2万部発行	PI活動に関する雑誌広告を実施した。
	ラジオ広告	40本(20秒広告) H18年7月6日~H18年8月3日	PI活動に関するラジオ広告を実施した。
	ラジオ放送	8回(1回:2~3分)、H18年7月3日~7月6日、7月10日~7月13日	PI活動に関する告知をラジオで放送(英語、中国語、韓国語、フランス語)した。
	チラシ配布	H18年6月~H18年7月	街頭および県内市町村、中学校、高等学校、大学等にチラシを配布した。
	ポスター配布	不明	県内市町村、中学校、高等学校、大学等にポスターを配布した。
	行政だより配布	270万部、H18年6月~H18年7月	福岡県及び福岡市の行政便りにPI活動に関する告知を掲載、配布した。
	テレビ番組	42回(1回:10分) H18年8月11日~H18年8月17日	PI活動に関するテレビ放送を実施した。
	国際交流機関広報誌掲載	16,500部、H18年7月	PI活動に関する告知を国際交流機関広報誌に掲載した。
	ホームページ	H18年6月27日~	H18年6月27日よりPI(ステップ2)の周知広報をホームページにて開始した。
3 (H19~)	新聞広告	3回	PI活動に関する新聞広告を実施した。
	雑誌広告	668,080部 H19年9月	PI活動に関する雑誌広告を実施した。
	ラジオ広告	127本 (H19年9月18日~H19年10月16日、20秒:計20本) (H19年9月20日~H19年9月30日、60秒:計107本)	PI活動に関するラジオ広告を実施した。
	テレビ広告	54回(1回:15秒) H19年9月23日~H19年9月29日	PI活動に関するテレビ広告を実施した。
	テレビ番組	2回(5分、30秒)	PI活動に関するテレビ放送を実施した。
	チラシ配布	H19年9月~H19年10月	街頭および県内市町村、中学校、高等学校、大学等にチラシを配布した。
	ポスター配布	不明	県内市町村、中学校、高等学校、大学等にポスターを配布した。
	行政だより配布	6回 876,800部 H19年9月~H19年10月	PI活動に関する告知を九州地方整備局、福岡県、福岡市の行政だよりに掲載した。
	ケーブルテレビ番組	42回(1回:10分) H19年10月5日~H19年10月11日	PI活動に関するテレビ放送を実施した。
	国際交流機関広報誌掲載	16,500部 H19年9月	PI活動に関する告知を国際交流機関広報誌に掲載した。
ホームページ	H19年9月10日~H19年12月10日	H19年9月10日よりPI(ステップ3)の周知広報をホームページにて開始した。	
4 (H20~)	新聞広告	2回	PI活動に関する新聞広告を実施した。
	ラジオ広告	79本 (H20年9月22日~H20年10月1日、40秒:計46本) (H20年10月19日~H20年10月25日、20秒:計30本) (H20年10月21日~H20年10月23日、120秒:計3本)	PI活動に関するラジオ広告を実施した。
	ラジオ放送	1回 H20年10月2日	PI活動に関するラジオ放送を実施した。
	テレビ広告	67回(1回:15秒) H20年10月5日~H20年10月11日 H20年11月2日~H20年11月8日	PI活動に関するテレビ広告を実施した。
	テレビ番組	4回(5分、40秒、60秒、30秒) H20年10月~H20年11月	PI活動に関する告知をテレビで放送した。
	チラシ配布	H20年9月	街頭および県内市町村、中学校、高等学校、大学等にチラシを配布した。
	ポスター配布	不明	県内市町村、中学校、高等学校、大学等にポスターを配布した。
	行政だより配布	4回掲載 約274万部 H20年9月~H20年11月	PI活動に関する告知を九州地方整備局、福岡県、福岡市の行政だよりに掲載した。
	メールマガジン	1回・約5,000件・H20年10月	PI活動に関する告知を福岡県のメールマガジンで発信した。
	ケーブルテレビ番組	42回(1回:10分) H20年10月31日~H20年11月6日、 3回/日×7日間×2局 約58万世帯	PI活動に関するテレビ放送を実施した。
	国際交流機関広報誌掲載	12,900部 H20年8月~H20年9月	PI活動に関する告知を国際交流機関広報誌に掲載した。
	パネル等展示	7箇所	パネル等展示では、福岡市区役所においてPIレポートの内容をパネルにしたものを展示した。
	ホームページ	H20年9月22日~H20年12月25日	H20年9月22日よりPI(ステップ4)の周知広報をホームページにて開始した。

※集計値

実施結果

step	手法	参加者(延べ)・資料配付	備考(実施回数等)
1 (H17~)	ホームページ	アクセス数:記載無し	開設:H17年6月24日~
	福岡空港見学会	152名	計5回実施した。
	インフォメーションコーナー	4,828名	H17年8月17日~H17年11月中旬、3箇所(福岡空港・福岡県庁・福岡市役所)にて実施した。PIレポートや関係資料等を自由に持ち帰ることが出来るよう配置。福岡空港においては、説明員を配置した。
	説明会	235名	5箇所(各1回)にて実施した。PIレポートの内容の説明を行った。当日は質疑応答を行うとともに、意見記入用紙設置した。
	懇談会	227名	計13回実施した。福岡市内の公共施設、福岡空港ターミナルビル等において、福岡空港と関わりのある事業者や関心を有する市民団体等を対象にPIレポートの内容の説明や意見交換を実施した。当日の質疑応答や意見交換、意見記入用紙によって、参加者の方々からご意見をいただいた。
2 (H18~)	ホームページ	9,028 アクセス (H18年7月25日~H18年10月31日)	開設:H17年6月24日~ PI(ステップ2)の周知広報を開始:H18年6月27日~
	シンポジウム	370名	H18年7月31日実施した。
	インフォメーションコーナー	6,935名	H18年7月10日~H18年11月14日、4箇所(福岡空港・福岡県庁・福岡市役所・九州地方整備局)にて実施した。
	説明会	243名	5箇所(各1回)にて実施した。福岡県内の主要な公共施設等にて実施した。
	懇談会	175名	計12回実施した。福岡市内の公共施設、福岡空港ターミナルビル等にて実施した。
	オープンハウス	来場者 1,925名 配布数 6,433部	7箇所(各2日)実施した。福岡県内及び県外(佐賀県)のショッピングセンター等にて実施した。
	福岡空港見学会	122名	計4回実施した。福岡空港及びその周辺の見学会を実施した。
	パネル展示	231部	9箇所にて実施した。福岡県内の主要大学および福岡市区役所において実施した。
	グループヒアリング	48名	計4回実施した。若者や女性の方を中心に、グループヒアリングを実施した。
	3 (H19~)	ホームページ	検索サイトでの運動広告クリック数:982回
インフォメーションコーナー		3,253名	H19年9月18日~H20年1月10日、4箇所(福岡空港・福岡県庁・福岡市役所・九州地方整備局)にて実施した。
説明会		192名	6箇所(各1回)にて実施した。
出前説明会		1,178名	計25回実施した。
懇談会		178名	計12回実施した。福岡市内の公共施設、福岡空港ターミナルビル等にて実施した。
公開懇話会		17名	計3回実施した。
オープンハウス		来場者4,927名、配布数11,271部	8箇所(各2日)実施した。
福岡空港見学会		37名	H19年10月21日に実施した。福岡空港見学会では、福岡空港及び新北九州空港のターミナル施設や関連施設などをご見学いただき、利用状況やPIレポートなどについての説明を行った。
福岡空港意見発表会		発表者11名、参加人数136名	開催日:H19年11月5日
4 (H20~)		ホームページ	アクセス数:13,323件 検索サイトでの運動広告クリック数:513回
	PIレポート配布	100,000部	PIレポート(ステップ4)及び参考資料(PIレポート(ステップ4)詳細版)を、福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等(23ヶ所)、市町村、学校、説明会、オープンハウス等のPI催し会場などで100,000部配布した。
	インフォメーションコーナー	3,257名	実施期間:H20年9月29日~H20年12月25日 4箇所(福岡空港・福岡県庁・福岡市役所・九州地方整備局)にて実施した。
	説明会	209名	5箇所(各1回)にて実施した。
	出前説明会	3,658名	計65回実施した。
	懇談会	166名	計12回実施した。福岡市内の公共施設、福岡空港ターミナルビル等にて実施した。
	オープンハウス	来場者5,634名 配布数14,434部	10箇所(各2日)実施した。福岡県内及び県外(佐賀県)のショッピングセンター等において実施した。
	市民意見交換会	114名	開催:H20年11月4日 市民意見交換会では、事前にお申し込みいただいた市民等のみならず、懇談会に参加いただいた方のうち希望された方計18名を中心に一般の入場者も含め、公開でPIレポートに関し意見交換を行い、幅広い視点から様々なご意見をいただいた。

※「福岡空港調査PI実施計画」、「福岡空港の総合的な調査に係るPI実施報告書」を元に作成。

(参考2)他空港での情報提供及び意見収集手法とその結果

事例として、「那覇空港」での各パブリックインボルブメント実施時期における、情報提供及び意見収集手法(回数・実施内容等)と、その結果(参加者数等)を示す。

実施した情報提供及び意見収集手法

Step	手法	回数・箇所・期間等	実施内容
1 (H17~)	行政広報誌への記事掲載	5誌・6回	県内全戸に配布する県の広報誌、及び空港周辺の市の広報誌にPI開始の記事を掲載し、周知した。
	新聞への記事掲載	4回	PI開始前の周知に加え、活動期間中も定期的に県内主要紙に記事を掲載し、周知を行った。
	空港、公共施設等でのポスター掲示	1,049枚	県内の全市役所・町村役場、空港内で多数の旅客が利用するスペースに加え、多くの県民が利用する公共施設など、複数箇所にポスターを掲示した。
	ホームページへの情報掲載	H17年7月21日～H17年9月30日	PI開始10日前よりホームページを開設し、PI活動やスケジュール等に関する情報を提供した。
	PI開始式	1回(1箇所) H17年8月1日	県民広場(県庁前)で開催した。
	テレビ番組の放映	3回(計45分) H17年7月30、31日	県政テレビ番組を活用した周知・広報を県内民放3局で実施した。
	県政広報テレビ(県庁1階)での広報	5日間(H17年8月1日～H17年8月5日)	県庁内で実施したオープンハウスに合わせて、県政テレビ番組(録画)ビデオを放映した。
	ラジオの公開放送での周知・広報	1回(2.5時間) H17年8月29日	FM沖縄の番組(ハッピーアイランド)による周知・広報(空港をテーマにしたお便り紹介、総合的な調査及びPIの紹介)
	調査報告書の配布	5,550部	行政機関の施設その他、イベント会場で配布したり、各種団体、関連事業者に配布した。
	調査報告書(概要版)の配布	26,462部	行政機関の施設その他、イベント会場で配布したり、各種団体、関連事業者に配布した。
	パネル展示	4カ所	県内主要空港、または主要空港の立地する市内の公共施設にて、パネル展示を実施した。
	県政広報テレビ(県庁1階)での情報提供	20日間	情報提供DVD(約9分間)の連続再生
	ラジオの公開放送での情報提供	1回(2.5時間) H17年8月29日	FM沖縄の番組(ハッピーアイランド)を通じて、総合的な調査に関する情報を提供した。
2 (H18~)	行政広報誌への記事掲載	16誌・16回	定期的に配布する広報誌に、PI開始を周知する記事を掲載した。
	新聞への記事掲載	開始前1回 実施中1回	県内の主要紙(沖縄タイムス、琉球新報)に、PI開始を周知する記事を掲載した。
	空港、公共施設等でのポスター掲示	1,000枚(掲示)	空港、市町村の公共施設等で、PIを周知するためのポスターを掲示した。
	ホームページへの情報掲載	H18年7月31日～ H18年10月31日	那覇空港調査連絡調整会議(県、沖縄総合事務局、大阪航空局)のホームページで、PI開始を公表し、PI活動終了時まで継続した。
	PI開始式の実施	1回	国、県、市の参加によるPI開始式を開催し、PI開始の周知を行った。
	テレビCMの放映	40回/1か月間	PIを周知するためのCMを県内民放3局で放映した。
	エアポートビジョンでのCM放映	2ヶ月間(H18年8月1日～ H18年9月30日)	PIを周知するためのCMを那覇空港ウエルカムホールエアポートビジョン(大型スクリーン)で放映した。
	県政テレビ番組の活用	2回/2か月間	県政テレビ番組「うまんちゅひろば」を通じて、PIの周知を行った。
	行政ラジオ番組の活用	7回/2か月間	行政ラジオ番組「ラジオ県民室」、「那覇市民の時間」を通じて、PIの周知を行った。
	電光掲示板の活用	2か月間(H18年8月1日～ H18年9月30日)	電光掲示板(県議会棟前)を通じて、PIの周知を行った。
	調査報告書の配布	5,710部	総合的な調査の結果等の要点をとりまとめた報告書を作成し、行政の情報窓口、空港等で配付した。
	調査報告書(概要版)の配布	21,473部	総合的な調査の結果等を分かりやすくとりまとめた報告書(概要版)を作成し、行政の情報窓口、空港等で配付した。
	パネル展示	3カ所(延べ103日)	県民が気軽に訪れることの出来る場所で一定期間パネル等を用いて情報提供を行った。
県政広報テレビでの情報提供	12日間	県政広報テレビ(県庁1階ロビー)を通じて、総合的な調査の結果等を分かりやすくとりまとめたDVDを終日放送した。	
3 (H19~)	行政広報誌への記事掲載	23誌	定期的に配布する広報誌に、PI活動を周知する記事を掲載した。
	新聞への記事掲載	開始前1回 実施中3回	県内の主要紙に、PI活動を周知する記事を掲載した。
	空港、公共施設等でのポスター掲示	1,500枚	空港、市町村の公共施設等で、PIを周知するためのポスターを掲示した。
	ホームページへの情報掲載	PI期間中	那覇空港調査連絡調整会議(県、沖縄総合事務局、大阪航空局)のホームページで、PI開始を公表するとともに、「那覇空港の調査報告書3」及び「調査報告書3概要版」をステップ1、2の調査報告書とともに、PI活動終了時まで継続して掲載した。
	県政テレビ番組の活用	民放3局・各1回	県政テレビ番組「うまんちゅひろば」を通じて、PIの周知を行った。
	行政ラジオ番組の活用	54回	行政ラジオ番組「ラジオ県民室」、「那覇市民の時間」「FMたまん」を通じて、PIの周知を行った。
	各種大会、会議等での呼びかけ	9回	県内で開催された各種大会等で、直接的にPIの周知を行った。
	調査報告書の配布	16,139部	PIステップ3の調査結果等を分かりやすくとりまとめた報告書を作成し、行政の情報窓口、空港等で配付した。
	調査報告書(概要版)の配布	77,235部	PIステップ3の調査結果等を分かりやすくとりまとめた報告書の概要版を作成し、行政の情報窓口、空港等で配付した。
	パネル展示	10カ所(延べ165日)	県民が気軽に訪れることの出来る場所で一定期間パネル等を用いて情報提供を行った。

実施結果

ステップ	手法	参加者(延べ)・資料配付	備考(実施回数等)
1 (H17~)	オープンハウス	652人(配布7,393部)	6カ所(PI開始式会場、県庁、那覇市・豊見城市・糸満市役所、那覇空港)で実施した。 延べ35日実施した。
	説明会	325人(配布1,230部)	6カ所(那覇市内)、計7回実施した。
	ホームページへの情報掲載	約16,000アクセス	H17年8月1日～H17年9月30日 那覇空港調査連絡調整会議(県、沖縄総合事務局、大阪航空局)のホームページへ掲載した。
	オープンハウス	1,331人(配布1,052部)	・6カ所(県庁、那覇市・豊見城市・糸満市役所、那覇空港、那覇祭り)、延べ46日実施した。
	シンポジウム	251人(配布251部)	沖縄の食文化の魅力テーマとした講演(田崎真也氏)と合わせて開催した。
	説明会	290人(配布290部)	4カ所(那覇市、沖縄市、琉球大学、沖縄国際大学)にて、計5回実施した。
	懇談会	122人(配布122部)	3カ所(観光団体、経済団体、空港関係者)にて実施した。
	空港見学会	211人(配布211部)	H18年9月9日(空の日)に実施した。
	ホームページへの情報掲載	8,508アクセス (ステップ1: 約16,000件)	H17年8月1日～H17年9月30日 那覇空港調査連絡調整会議(県、沖縄総合事務局、大阪航空局)のホームページへ掲載した。
	オープンハウス	7,653人(配布8,896部) 26カ所(延べ172日)	県民が気軽に訪れることの出来る場所で一定期間パネル等を用いて情報提供し、意見収集や意見交換を実施した。
	シンポジウム	180人(配布180部) 1回	総合的な調査の内容等について、基調講演や数名のパネリストとの対話を通じて情報提供を実施した。
	説明会	479人(配布827部) 9回	総合的な調査の結果等を、県民、地域住民、企業、団体に対して説明した。
	懇談会	699人(配布1,756部) 28回	総合的な調査の結果等について、各種団体との意見交換を行った。
	空港見学会	398人(配布117部) 1回	空の日の空港見学会イベントを通じて、パネル等を用いた情報提供を行った。
	ホームページへの情報掲載	9,779アクセス	PI期間中、調査報告書等の総合的な調査に関する情報を提供した。

※「那覇空港構想段階に関するPI実施計画」、「那覇空港の総合的な調査に係るPIの記録」を元に作成。

(参考資料3)

インフォメーションコーナー

概要	・情報交換のための施設(ブース等)を設置して、市民等の意見や提案を直接把握する。
目的	・PI(パブリックインボルブメント)および関連する調査等の結果をわかりやすく伝える。 ・市民等からの信頼度を高めること。
特徴	・市民等は、都合の良い時間に立ち寄り、必要な情報だけを得ることが可能。 ・展示物のみのため情報量には限りがあるが、市民等は気兼ねなく利用することが可能。
参加者	・施設へ直接来訪できる市民等。
提供する情報	・PI(パブリックインボルブメント)に関わる情報等。 ・調査の情報等。
把握できる情報	・公表済み情報に対する市民等の質問や意見等。

参考：福岡空港調査PI 実施計画

参考：国土交通省関東運輸局「公共交通分野における市民参画ガイドンス」

(事例等)

○福岡空港

・福岡空港 PI(ステップ3)のインフォメーションコーナー(H19 年度)

開催概要	福岡空港、福岡県庁、福岡市役所および九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所の4カ所に設置し、福岡空港では約4ヶ月で約3,253名が来場した。
------	-------------------------------------------------------------------------



インフォメーションコーナーの様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議 HP

○札幌市 (空港に関する事例ではない)

・SCARTS(Sapporo Cultural Arts Community Center)インフォメーションコーナー

開催概要	札幌市内の文化イベントについての情報を中心としたインフォメーションコーナーを設けている。市民や団体からの依頼により文化イベントに関するチラシ・DM を設置し、市民の文化活動を支援している。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------



札幌文化芸術交流センター SCARTS のインフォメーションコーナー

出典：札幌文化芸術交流センターHP

オープンハウス

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルの展示やパンフレット等資料の配布(場合により、図面、写真、模型、ビデオを用いた解説)により、市民等が参加しやすい時間帯に情報を提供する場を設ける。 ・市民等は担当の行政スタッフに対して質問し、コメントカードやアンケートによって意見を述べる事が可能。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が、参加しやすい環境のもと、取りまとめられたレポートや関連する調査等に関する正確な情報を提供する。 ・会議形式の行事に抵抗感を有する市民等に機会を提供し幅広く情報提供する。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会など大勢の前で発言することに抵抗感を有する市民等も参加し易い。 ・市民等は、都合の良い時間に立ち寄り、必要な情報だけを得ることが可能。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市民等。
提供する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・その時点で議題とすべき事項の詳細な情報等。
把握できる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・提示した情報に関する市民等の意見や疑問等。

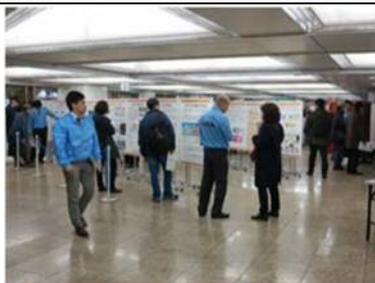
参考：福岡空港調査PI実施計画

(事例等)

○羽田空港

・羽田空港オープンハウス型の住民説明会(H29 年度)

開催概要	H27 年度より東京都、神奈川県、埼玉県で実施され、H29 年度の第 4 フェーズは 16 会場で開催し、約 3,400 名が来場した。
------	----------------------------------------------------------------------



オープンハウスの様子

出典：国土交通省 HP

○福岡空港

・福岡空港調査PI(ステップ1)のオープンハウス(H17 年度)

開催概要	福岡市内、北九州地区、福岡地区、筑後地区、筑豊地区の 5 箇所で 2 日間ずつ実施され、1,629 名が来場した。尚、PI ステップ 2~4 でも実施された。
------	---------------------------------------------------------------------------------



オープンハウスの様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議 HP

グループヒアリング

概要	・市民等の中から小グループ(10人前後)を選出し、市民等のニーズ、期待、関心等に関するインタビュー調査を実施。
目的	・調査検討結果やPIに対する市民等の意見を収集する。
特徴	・市民等は、ニーズ、期待、関心等をアンケートよりも詳細に発言することが可能。 ・メンバーが互いに影響しあうことから単独のインタビューよりも発言しやすい。
参加者	・市民等からの無作為選出者等。
提供する情報	・調査検討結果やPIに関する情報等。
把握できる情報	・市民の詳細なニーズ、期待、関心等。

参考：福岡空港調査PI実施計画

(事例等)

○福岡空港

・福岡空港PI(ステップ2)のグループヒアリング(H18年度)

開催概要	他の手法では意見を収集できない可能性のある「若年層(20歳代)」「女性」の意見を収集することを目的に、計4回のグループヒアリングを行い、計48名に参加いただいた。
------	-----------------------------------------------------------------------------------



グループヒアリングの様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議HP

○茨城県稲敷市(世代別ヒアリング)(空港に関する事例ではない)

・第2次稲敷市総合計画 基礎調査の世代別ヒアリング(H27年度)

開催概要	調査対象者 6 グループ(未就学児の親、就学時の親、大学生・専門学校生、20-30代、40-50代、シニア世代)に対し、生活実態、市民意識、市民ニーズをくみ取り、「稲敷市で豊かに暮らすための取り組み」について聞き取りをした。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



グループヒアリングの様子

出典：稲敷市HP

座談会・懇談会

概要	・関連事業者や市民、各種の団体、有識者など特定のカテゴリーの関係者と意見交換を行い、情報の共有等を図る。
目的	・情報を提供し、特定のカテゴリー層の意見や論点を顕在化させること。
特徴	・十分に情報提供し、議論することにより、相互の理解を深めることができる。 ・参加者の属性に応じて設置することで、参加者が発言しやすい環境を創出する。
参加者	・関連する事業者や関心を持つ市民、各種の団体(市民団体等も含む)、専門知識を有する有識者等。
提供する情報	・その時点で議題とすべき事項の詳細な情報等。
把握できる情報	・その時点での各参加者の関心等。

参考：福岡空港調査PI実施計画、福岡空港調査連絡調整会議HP

(事例等)

○福岡空港

・福岡空港調査PI(ステップ1)の懇談会(H17年度)

開催概要	交通事業者(1回)、航空関係事業者(1回)、空港関連事業者(1回)、利用企業等(4回)、空港周辺住民等(4回)、市民団体(1回)、空港周辺自治体(1回)、計227名が参加した。尚、PIステップ2~4でも実施された。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------



座談会の様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議HP

○札幌市(空港に関する事例ではない)

・地域と創る冬みち事業市民懇談会(札幌市建設局)(H26年度)

開催概要	「雪に負けないサッポロづくり本部」の中の1つの検討項目で平成18年より懇談会を実施した。平成26年度は札幌市全区を対象にワークショップ型の市民懇談会を数回にわたって開催し、2,050町内会が参加した。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------



懇談会の様子

出典：札幌市HP

意見交換会

概要	・一定の人数の市民を一堂に会し、直接対面方式により意見交換を行うもので、市民と市、あるいは市民どうしの対話を行うもの。
目的	・市民への説明責任を果たすことや市民間の意見交換を促進すること。
特徴	・直接対話により、きめ細やかな説明や双方の意見に対する考え方も明確に伝わる。 ・参加者が慣れていない場合は、単なる質疑応答に近い内容になる場合や、主張の強い人に全体の意見が左右されるなど、全体の方向性を見出すことや合意形成にまで至らない場合もある。
参加者	・関心を持つ市民等。
提供する情報	・調査検討結果やPIに関する情報等。
把握できる情報	・提示した情報に関する市民等の意見や疑問等。

参考：札幌市「職員のための情報共有・市民参加推進の手引き（解説書）」

参考：国土技術政策総合研究所「社会資本整備における住民とのコミュニケーションに関するガイドブック」

（事例等）

○福岡空港

・福岡空港調査PI(ステップ4)の市民意見交換会（H20 年度）

開催概要	114名の一般の入場者が見守る中、「考えよう・わたしたちの福岡空港」というテーマで、市民等18名を中心とした意見交換会が公開で実施された。
------	-----------------------------------------------------------------------



意見交換会の様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議 HP

○札幌市（空港に関する事例ではない）

・サッポロスマイルトーク(札幌市総務局)(平成 30 年度)

開催概要	平成 27 年度より実施して、市政に関するテーマについて、市民と市長が、誰もが自由に傍聴できる開放的な場で直接対話を行う。平成 30 年度は 2 回実施された。
------	----------------------------------------------------------------------------------



意見交換会の様子

出典：札幌市 HP

説明会・公聴会

概要	・調査等の情報を PI 実施主体が説明し、市民等からこれに対する質問や意見を受ける公式の場として開催。
目的	・市民等に対して計画に関連する情報を提供すること。公式的に情報提供機会や意見把握機会を設けること自体も目的。
特徴	・正確な情報を伝えることが可能。 ・説明会は実施主体からの情報提供が主体、公聴会は市民からの意見聴取が主体となるため、十分なコミュニケーションするためにはこれらの対話手法と組み合わせて用いることが必要。
参加者	・関心のある市民等。 ・公聴会の公述人は事前に意見を提出し、公聴会で意見を述べるができる方等。
提供する情報	・取りまとめられたレポート及び関連する調査等の情報等。
把握できる情報	・提示した情報に関する市民等の意見や疑問等。

参考：福岡空港調査PI実施計画

参考：国土交通省関東運輸局「公共交通分野における市民参画ガイドンス」

(事例等)

○福岡空港

・福岡空港調査PI(ステップ1)の説明会(H17 年度)

開催概要	福岡市内・筑豊地区・北九州地区・福岡地区・筑後地区で各 1 回ずつ開催、計 235 名が参加した。尚、ステップ 2～4 でも実施された。
------	----------------------------------------------------------------------



福岡市内での説明会の様子



筑豊地区での説明会の様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議 HP

○那覇空港

・那覇空港の施設変更等に関する公聴会 (H25 年度)

開催状況	第2滑走路の事業着手に向け、国土交通省が開催。住民等約 200 名が傍聴し、市町村や関連団体から意見を聴取した。
------	----------------------------------------------------------

出典：国土交通省 HP

ワークショップ(研究集会)

概要	・参加者をあまり固定せず、比較的少人数で、参加者が自発的に作業や発言をおこなえる環境が整った場において、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される。
目的	・自由な議論や共同作業を通して合意形成を図る。
特徴	・市民どうしが受身ではなく主体的に自由な意見交換を行うことから、市民が参加した充実感を得られる。 ・市民の知恵や新たなアイデアがさまざまな意見を通し集積される点で効果的。 ・多様な意見から合意形成を図るためには時間を要する場合があるとともに、中立的な立場の調整役がない場合には対立する意見が整理できない場合がある。
参加者	・自発的に参加して体験を希望する市民等。
提供する情報	・調査検討結果やPIIに関する情報等。
把握できる情報	・市民の知恵や新たなアイデア等。

参考：札幌市「職員のための情報共有・市民参加推進の手引き（解説書）」

(事例等)

○札幌市（空港に関する事例ではない）

・市民自治を考える市民ワークショップ(札幌市市民文化局)(H29 年度)

開催概要	無作為に抽出した市民 2,000 名に案内を送付し、参加希望者から抽選で選定、28 名が参加した。「これからの町内会をみんなで考える。」をテーマに検討を行った。
------	----------------------------------------------------------------------------------



ワークショップの様子

出典：札幌市 HP

・「札幌市都市計画マスタープラン」見直しに係るまちづくりワークショップ(札幌市まちづくり政策局)(H26 年度)

開催概要	無作為に抽出した市民 3000 名にアンケートを送付し、参加希望者の中から、性別・年齢・居住区のバランスを考慮して選出された 28 名が参加した。これからの都市づくりの方針や取り組みの方向性について検討を行った。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------



ワークショップの様子

出典：札幌市 HP

フォーラム・シンポジウム

概要	・調査の結果に基づき、基調講演やパネルディスカッションを開催。 ・フォーラムはより参加者とのディスカッションに重点を置くもの。
目的	・市民等の関心を高め、認知度を高めること。
特徴	・一度に多くの人々が参加でき、幅広く情報を伝達するなどの効果が期待できる。
参加者	・パネラーは、有識者や地元のオピニオンリーダー等。 ・一般参加は、すべての市民等。
提供する情報	・その時点で議題とすべき事項の詳細な情報等。
把握できる情報	・提示した情報に関する市民等の意見や疑問等。

参考：福岡空港調査PI実施計画

参考：国土技術政策総合研究所「社会資本整備における住民とのコミュニケーションに関するガイドブック」

(事例等)

○福岡空港

・福岡空港調査PI(ステップ2)のシンポジウム (H18年度)

開催概要	約370名が参加、基調講演「世界の最新航空事情と空港の未来」ののち、学識者等4名のパネリストによるパネルディスカッション、質疑応答が行われた
------	------------------------------------------------------------------------



シンポジウムの様子

出典：福岡空港調査連絡調整会議HP

○北海道

・HOKKAIDO 空港運営戦略フォーラム (H29年度)

開催概要	北海道と内閣府、国土交通省が開催。事業者、一般参加、自治体等389名が参加。7空港一体運営委託に関して、基調講演、特別公演、パネルディスカッションを実施。
------	-------------------------------------------------------------------------------



フォーラムの様子

出典：北海道空港運営戦略推進室 HOKKAIDO 空港運営戦略フォーラム講演録